

令和2年12月7日
生涯学習推進検討会議
構成員用資料

生涯学習ビジョンの 検討状況について

生涯学習振興課

ビジョン策定に向けた検討経緯（6月～8月）



生涯学習推進部会

(職員・映画監督・PPPコーディネーター 18名)
6月22日

- 学びを積み重ねていくことは、人の**成長ストーリー**そのものである。
- 突如のコロナ禍は、**生き抜くためには学びが必要**だということ突きつけた。
- 未曾有の危機を克服するには、**新たな発想**で立ち向かうことが必要。そのことは、**個人の成長**や**地域の発展**にも寄与すると思う。
- 市として生涯学習を推進していくことは、**地域を創造していくこと**だと思う。
- こうした混沌とした時代だからこそ、市民と職員が**元気で、わくわくした気持ち**によって、未来を信じ、**夢とロマン**を共有することが大切だ。 など



社会教育委員会議

(市民・教育関係者・学識経験者 15名)
6月29日

- 本市の生涯学習所管課は、緊急事態になってからすみやかに、**数多くのコンテンツ**を提供し、その内容も濃かったことを評価したい。今後、利用者の意見を取り入れることもした方がよい。
- コロナ禍の影響で、**高齢者の情報リテラシー**が高まった。Zoomの講習会は人気が出ると思う。
- 職員のボトムアップでバックボーンを作り、練り上げていく姿勢が素晴らしい。
- 情報を出しただけで終わっている例が見られるが、情報は、相手に届き、**正しく伝わってこそ意味がある**。 など



生涯学習推進検討会議

(議長：生涯学習部長、市長部局：17課
教育委員会：6課 24名) 7月29日

- 我々の事業が、市民に**生涯学習を提供している**という意識を改めて持つことができた。今後も連携していきたい。
- 「わくわく、元気で、夢を持ち」という言葉の使い方は、くどいようだが、行政計画にはない**新鮮さ**がある。
- 本市の強みである、**質の高い学びを推進するビジョン**という打ち出し方もいいと思う。
- 「**学び抜く**」という表現に歯を食いしばるイメージがあるので、他の文言と並ぶと違和感があるかもしれない。でも**印象に残る**。
- 「生涯学習」という言葉の意味を**市民に分かりやすく説明する**ビジョンとなればいいと思う。
- 分かりやすさを重視で、**日常でも使うような言葉遣い**がいい。など



さいたま市教育委員会
教育長・教育委員

7月30日

新しい時代に向けて、市民に分かりやすいビジョンとなるよう、しっかりと検討して、良いものを作ってほしい。



市民アンケート

(回収3,349件)
7月20日～8月末

結果は別添参照

- 【質問】生涯学習を行うようになった目的について
- 【質問】コロナ禍の影響で学習に関する意識や行動に生じた変化について
- 【質問】これからの時代に、学びを充実させるために重要なこと、必要なこと

ビジョン策定に向けた検討経緯（9月～11月）

～10月 **事務局**（生涯学習振興課）



「市民とともに目指す」ことを明確にするため、
「生涯学習推進ビジョン」から「**生涯学習ビジョン**」へ転換

10月19日 **生涯学習推進部会**



- 今、ビジョンをつくる意義は
- なぜ、学びが必要なのか
- 本市が目指す生涯学習とは
- 人生の充実と社会の発展に向けて

10月20日～ **事務局**（生涯学習振興課）



ビジョンを作る意義・構成を踏まえ、「個人の成長 → 輪の成長 → コミュニティの成長」を1つのストーリーとして文章化

10月27日 **社会教育委員会議**



- 分かりやすいビジョンとは
- 正確に伝わるためには
- 主語は個人か市か
- さいたま市らしさとは
- ターゲットは

11月18日 **生涯学習推進部会**



- 熟議 「生涯学習を通じてどんなまちにしたいのか」
「そのために何をしていくのか」 「さいたま市らしさとは」

11月20日 **教育戦略会議報告**

- 本市が目指す生涯学習について
- ビジョンのイメージとは

社会の
変化

- ・技術革新やグローバル化の急速な進展
- ・長寿化に伴う「人生100年時代」の到来
- ・少子高齢化による労働力人口の減少
- ・社会の持続的な成長・発展に向けた国際的な政策動向（SDGs）など

コロナ
禍

- ・想定外の連続の中、困難に対応して生き抜いていくことが人類共通の課題
- ・新たな生活様式のもと、ICTを活用した新たな学び方の試行、導入、実践
- ・人と人とのつながりや地域コミュニティの大切さ、価値の再認識
- ・未曾有の危機に立ち向かい、克服するためには、行政だけでは到底不可能など

人生100年時代、幾度となく発生する可能性のある危機に向き合いながら、「**生涯を通して学び続けることが生きる原動力になる**」という普遍的な視点を持つことが重要である。



本市の生涯学習の理念を示す**ビジョンを新たに掲げ**、生涯学習の新しい姿を市民と共有しながら、**オールさいたま市**で生涯学習施策を推進していく必要があるのではないか。



人生が豊かになる

学び×自分

- ・趣味や教養が充実する
- ・生き方や仕事に活かせる
- ・リラックス、リフレッシュできる
- ・感性が豊かになる
- ・元気が湧く
- ・文化芸術に触れる機会が増える
- ・体力が向上する
- ・様々な可能性が高まる など

「個人」
の成長



つながりができる

学び×仲間

- ・認め合う気持ちが高まる
- ・新しいアイデアや考え方が湧く
- ・共感が生まれる
- ・居場所ができる
- ・お互いを高め合える
- ・他者を助けられる
- ・新しい人間関係ができる
- ・学んだことを共有してネットワークができる など

「輪」
の成長



交流が広がる

学び×コミュニティ

- ・世代を超えた交流ができる
- ・憩いの空間が生まれる
- ・大学、企業、NPO等多様な団体から学べる
- ・地域社会・コミュニティへの愛着が生まれる
- ・社会貢献の気持ちが芽生える
- ・地域の課題や困り事の解決が図られる など

「コミュニティ」
の成長

個人の成長→輪の成長→コミュニティの成長の文章化

色とりどりの花が咲く 楽しい学び

○自由な時間を使って自分の好きなことに打ち込んだり、興味のあることを学んだりすることは、暮らしの質を高め、人生を豊かにしてくれます。そして、もっと知りたい、もっと楽しみたいという好奇心や探求心がワクワクした気持ちを高めてくれます。思い思い、自分らしさが発揮できる場所や時間を持つことで、心の余裕も生まれ、いつしか未来への希望や夢も生まれてきます。そんな、彩り豊富な楽しい学びを続けることで、人生の可能性が広がってきます。

豊かにつながる 学びの架け橋

○楽しく学んだことが、自分の能力の維持や向上につながるのは嬉しいことです。さらに、自分ではない誰かと交流ができて、学んだ内容を教えたり、逆に知らなかったことを教えてもらったりすると、つながっているという気持ちが芽生えてきます。お互いの手助けによって、一人ではできなかったことでも仲間と一緒にならできるかもしれません。そうした成功体験や感動は新しい発見を得ることができます。さらに、お互いを応援したいと思う絆が生まれてきます。

学び合い支え合う 生き生きした地域

○仲間と共に学んだことや行動したことが、目に見える成果として表れたり、困っている誰かの力になっていると思うことは、自分だけではなくて誰かの人生も豊かにしてくれます。人は一人では生きていけないからこそ、幸せに生きていくためには、みんなで支え合うことが大切です。楽しく学んだことが、世の中の役に立ったり、地域の課題を解決することに結び付けば、支え合いの優しい気持ちで包まれた、とても豊かな社会が実現できます。

ビジョンの内容について

- 自分磨きではなくて**自己実現を目指すべきだ**。
- **個人の成長と社会の発展という考え方**は委員でも共感し、一致している。
- 市民が自ら行っている生涯学習についてはビジョンに入れなくてもいいのではないか。
- **なぜ今生涯学習が必要なのか**を示すことが大事だ。
- そのために**何を実現するのか**を示していくことが重要ではないか。
- **学びが変わると行動が変わる**ということも、ビジョンの中で触れてもいいのではないか。
- **市として実現していくことを掲げなければならない**。
- **さいたま市らしさをどう表現するか、市にとってどんな学びが必要なのか**を打ち出すことが必要だ。 など



伝え方について

- 「**何のために学んだらう**」という部分を示し、学んでない人にも伝わるようにしたい。
- **誰に向けて伝えたいのか**、どんな人に伝えたいのかが見えてこない。
- 若い世代は**短い文章でないと読まない**。文章の量も重要だ。
- **対象に合わせた言葉の使い方が重要だ**と思う。
- みんなに伝わりやすいようにという点が裏目に出ている。**ターゲットを絞ってもいい**。
- 花、架け橋、地域と**比喩にまとまりがない**。統一したイメージが必要だ。
- 上から目線の誤解を受けないように、**言葉の使い方は重要だ**。 など



**生涯学習を通じて、本市として何を
実現していくか？**

(参考) 「第2期さいたま市教育振興基本計画」目指す人間像

- 生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち、生きがいを見つけ、健康で幸せに暮らすことができる人

○ 学びで夢と志をはぐくみ、自分らしく生活できるまち



部会メンバーより

「前向きなまち、自分を高めるまち、学びでつながるまち」を実現したい！

○ 学びでつながり、健康で幸せに暮らせるまち



部会メンバーより

「住みやすいまち、健康なまち、喜びあふれるまち、楽しく学べるまち」を実現したい！



本市の強みを 打ち出せないか？

日本一の
教育都市

- ・全国トップレベルの学力
- ・日本一の英語力
- ・全校自校給食
- ・図書館数政令都市一位、一人当たりの貸出冊数が政令都市一位
- ・公民館数60館

誰もが
住みたい

住んでみたい
住み続けたい

安全なまち

幸せに
暮らせる

部会の意見

本市の現状

- ・SUUMO住みたい街ランキング2020 大宮4位・浦和10位
- ・長谷工グループ住みたい街（駅）ランキング2020 大宮3位・浦和3位
- ・R2市民意識調査住み続けたいと答えた人85.0%
- ・東洋経済新報社幸福度ランキング政令都市総合 第1位

彩り豊かな
自然

公園が
たくさん

たくさんの人
とつながる

- ・見沼田んぼ
- ・日本初国指定天然記念物
- ・新都心等都会の賑わい

スポーツが
盛ん

盆栽を
育てるなら

鉄道が
好きなら

- ・サッカーのまち
- ・人形のまち
- ・盆栽のまち
- ・鉄道博物館

さいたま市が目指す生涯学習（案）

【目指すまちの姿】
学びで夢と志をはぐくみ、自分らしく生活できるまち
学びでつながり、健康で幸せに暮らせるまち

世界の持続可能な発展

新しい価値の創造

- ・ネットワーク型行政の充実
- ・学びを通じた「地域づくり」のサポート
- ・課題解決に向けた学校・家庭・地域の連携協働の支援

社会貢献

- 地域コミュニティを豊かにする
- よりよい社会づくりを目指す

自己実現

- 学んだことを人生に活かす
- 学んだことを仕事に活かす

- ・リカレント教育や、ICTを活用した新しい学びの方策を提供
- ・新たな学びの場の提供

地域への愛着や誇り・地域づくりへの意欲

成功体験・感動・達成感の獲得

【目指す人間像】
生涯にわたって質の高い学びを重ね、夢と志を持ち、生きがいを見付け、健康で幸せに暮らすことができる人

仲間との出会い・共感・支え合い

能力・スキルの向上

学習コミュニティ

- 学びを共有し、ネットワーク化する
- 新しい考え方を獲得する

自分磨き

- 学びを楽しみ、深める
- 自分の能力や可能性を高める

- ・魅力ある生涯学習環境の整備
- ・実用的な学びや、専門的で質の高い学びの提供

- ・学びを通じた市民の交流の場の提供
- ・学びを生かした「つながり」の提供

学びのきっかけ

活動への動機付け

新たな気づき

学びの提供者

学び人（学習者）

学びの提供者

さいたま市の強み・ポテンシャル

第2期さいたま市教育振興基本計画（平成31年度～）

「未来を拓くさいたま教育」推進プロジェクト（令和2年1月～）

方向性4 人生100年時代を見据えた教育環境整備

- ・人生100年時代を輝き続ける力を育成する生涯学習の推進
- ・市の魅力アップにつながる生涯学習関連施設の整備

生涯学習ビジョン（令和3年4月～）

公民館ビジョン
（令和3年4月～）

図書館ビジョン
（令和3年4月～）

【参考】ビジョン策定までの流れ

現在

12月中

生涯学習ビジョンに関する意見聴取

- ・生涯学習推進検討会議、生涯学習推進部会から意見聴取



令和3年1月～2月

生涯学習ビジョン素案の作成

- ・事務局にて作成し、生涯学習推進検討会議委員へ報告予定（メール等）



3月中旬

第2回生涯学習推進検討会議（予定）

- ・生涯学習ビジョンについて（成案の報告）
- ・生涯学習ガイドブックについて 等



3月下旬

生涯学習ビジョン策定

- ・教育長決裁により策定